The Lepidopterological Society of Japan

日本產ツマキチョウ属の属名について

岡 垣 弘

NOTES ON THE GENERIC NAME OF SO-CALLED EUCHLOE-SPECIES FROM JAPAN (PIERIDAE)

By HIROMU OKAGAKI

日本に產するところの橙黃色のはねさきを持つてゐる小型のシロチョウ，すなはち舊北區に廣く分布しているクモマツマキチョウ，*cardamines* Linné，および中國と日本に分布しているツマキチョウ，*scolymus* Butler，の2種は，ある時は *Anthocharis* として扱われたり又 *Euchloë* に入れられたりして，いつたいどの屬名を用いるのが正しいのかよく知られていなかつた．私は幸にも江崎悌三教授，岡田慶夫氏，白水隆助教授，柴谷篤弘氏，並に Alexander B. Klots 博士の御援助によつて，そのあいだのいきさつを知ることができ，又雄交尾器の比較形態學の立場から分類に對するいくらかの考をまとめることができたので，ひとまづこゝに報告しておきたい．尙附圖の寫眞には秦凱彥氏をわづらわした．併記して感謝の意を表したい．

J. Röbner (in Seitz, Macrolep. of the World, I, 1906) は *cardamines* L. を *Anthocharis*, *scolymus* Btlr. を *Midea* として *Euchloë* は別の屬にして扱つた．A. B. Klots (Bull. Brooklyn Ent. Soc. 25, 1930) は *Midea* (Herrich-Schaeffer, 1867, type *genutia* Fabricus) が *Bruzelius* (1854) に先占されて無効であることを指摘し，新に *Falcapica* (type *genutia* Fabr.) を創設してこれを *Anthocharis* (Boisduval, 1832, type *cardamines* L.) の亞屬とした．この際 Klots は Butler (1870) に從つて *Euchloë* (Hübner, 1816) の type を *belia* Cramer とし，Röbner と同樣に別屬としている．ところがその後 F. Hemming (The Generic Names of the Holarctic Butterflies, 1934) は，*Euchloë* (Hbn., 〔1823〕) の type が眞の *belia* Cramer (i. e. Stoll) ではなくておそらく *orientalis* Bremer の亞種と思われるところの *esperi* Kirby (1871) に相當するといい，他方では *Anthocharis* と *Euchloë* とをひとつの屬にひつくるめてその名に *Euchloë* Hübner を用いるべきだとのべている．

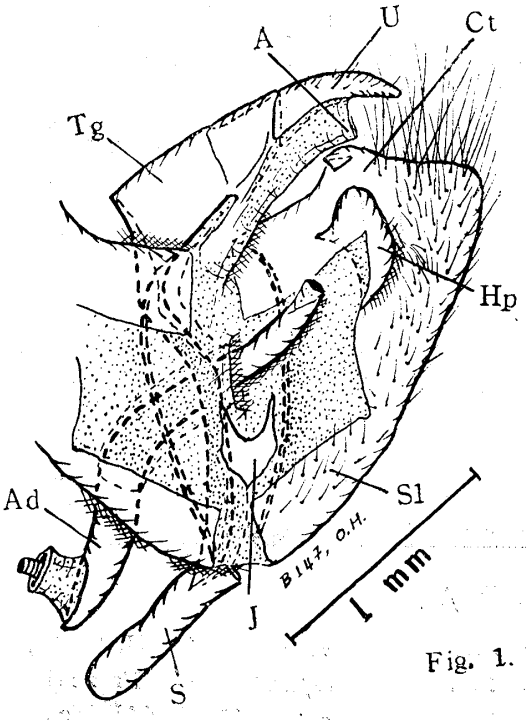

Fig. 1.

Fig 1. *Euchloe* (s. str.) *belia* Stoll, from Europe.
Tg : Tegumen, S : Saccus,
U : Uncus, A : Anus,
J : Juxta, Hp : Harpe,
ct : Costa, Sl : Sacculus,
Ad : Aedeagus.

このようないろいろな屬のわけかたに對する意見のうちで，Klots (loc. cit. 1930) の研究は雄交尾器をはじめあらゆる標徵を考慮しているからもつとも信用できるものであり，又その後彼がなしとげた Pieridae のすべての屬の再檢討 (Ent. Amer. XII, 3, 4, 1933) の中の屬の扱を比べあわせてみると *Anthocharis* を獨立屬とすることは決して細分ではない

NII-Electronic Library Service

The Lepidopterological Society of Japan

と思われるから私は彼のわけ方を支持すべきだと考える．Klots によれば，*Anthocharis* は前翅の R_2 が通常中室から出てR-stemから多少はなれてゐること，Valva の背中側のへり卽ち Costa のところに三角形の突起をもたないこと，雄の前翅の先に橙色をあらわすことによつて彼のいわゆる *Euchloë* と區別される．*Euchloë* Hübner の type を Hemming (loc. cit. 1934) に從つて *esperi* Kirby と變えなければならないにしても，*orientalis* Br. は Klots が彼のいわゆる *Euchloë* (s. str.) にいれている種であるゆえおそらく彼の用いた屬名を變更する必要はないものと思われる．從つて *cardamines* L. 及び *scolymus* Btlr. の屬名としては *Euchloë* Hübner でなしに *Anthocharis* Boisduval を用いなければならない．

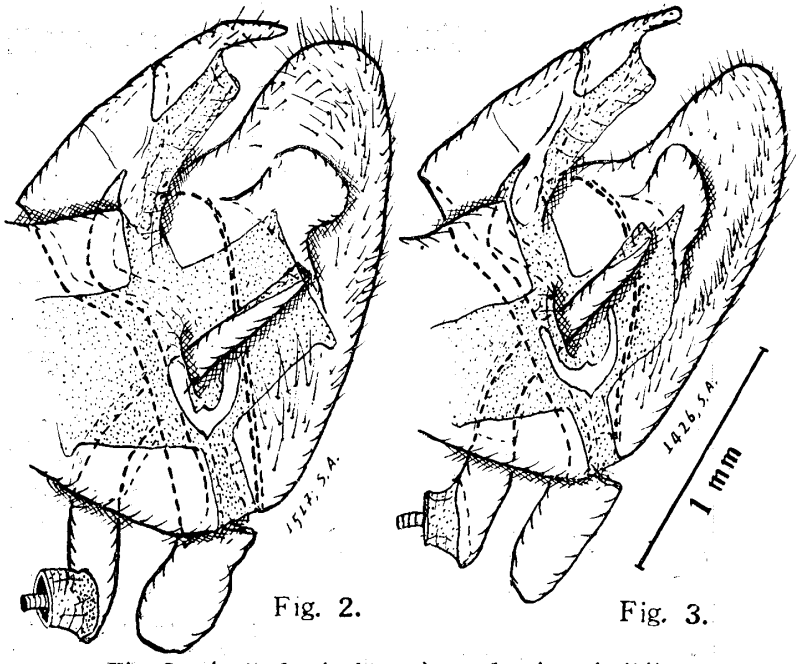

Fig. 2. *Anthocharis* (s. str.) *cardamines issikii* Matsumura, from Honshû.
Fig. 3 *Anthocharis* (s. str.) *Scolymus* Butl, from Honshû.

Anthocharis の亞屬 *Falcapica* に入れるべき種類として Klots は *bieti* Oberth., *genutia* Fabr., *lanceolata* Boisd., *scolymus* Btlr. をあげている．そして *Falcapica* と *Anthocharis* とのちがいとしては前翅の先がつき出しているかいないかとゆうことだけのべてゐる．しかしながら實際に *cardamines* L. と *scolymus* Btlr. とを比べてみると，翅の形のちがいのほかは，翅のうらのもようもよく似ており，又雄交尾器においても非常によく似ていて，むしろ *scolymus* Btlr. と *genutia* Fabr. とのちがい方が大きいようにみえる．

又一方同じ *Anthocharis* (s. str.) に入れられた *cardamines* L. と *sara* Boisd. と比べると Juxta の形など非常にちがつてゐる．このようなことを考え合せると，*Anthocharis* の亞屬の分け方は翅の形ばかりでなく，他のいろいろな標徵をとらえていくらか修正する必要があるように思われる．いまのところ私は *Falcapica* Klots を新北區のいくらかの種類にそのまゝあてはめておいて，*scolymus* Btlr. を *Falcapica* からはなし *cardamines* L. と同じ *Anthocharis* (s.str.) に移すことにする．

上にのべたことから日本產のツマキチョウ屬は次のようになる

Anthocharis (s. str.) *cardamines issikii* Matsumura 〔Honshû.〕

Anthocharis (s. str.) *scolymus* Butler 〔Hokkaidô, Honshû, Shikoku, Kyûshû, Yakushima.〕

SUMMARY

1. The present paper supports the Klots' opinion (1930) to distinguish *Anthocharis* Boisdvral from *Euchloë* Hübner. However the generotype of *Euchloë* Hbn. is not *belia* Cramer but *esperi* Kirby according to Hemming (1934). The correct generic name for *cardamines* L. and *scolymus* Butler is *Anthocharis* Boisduval.
2. *Scolymus* Btlr. must be transferred from subgenus *Falcapica* Klots to *Anthocharis* (s. str.) because of close resemblances with *cardamines* L. in male genitalia and in type of pattern. The wing shape can not be worth good reason of subgeneric separation at least in this case.
3. Distributions of *Anthocharis*-species in Japan are mentioned in the text.

NII-Electronic Library Service